



本年度最初のTTAK新聞になります。青葉が美しい季節となりました。体調はいかがでしょう？本年度もT・TAKメンバー一同、頑張って地域医療に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今回は、今までのT・TAK活動を振り返り、今後に向けて新キャラクターの「T・TAK君（ティータック）」と薬剤師の小野さんにお話を伺いました。

こんにちは。お忙しい中ありがとうございます。

◆TTAK君：T・TAKていつからできたの？



★小野：H16年8月に介護保険で何？てところから始まったんだよ。介護保険の申請から介護サービスを受けられるまでをマニュアル化と福祉施設、医療機関のマップ作りを皆んなで力を合わせて作っていったんだ。それから、各病棟で患者様個々のニーズに応えられるよう作ったマニュアルをスタッフにも教えていったんだ。

会の名前も、^T「退院後も^Tつなぎます、^Aあなたの^K精神（**こころ**）と身体（からだ）」の頭文字をとって、T・TAK（ティータック）と名付けたんだよ。

◆TTAK君：そうなんだ。そのT・TAKで生まれた僕の名前がT・TAK君なんだね。

★小野：そうそうそう！



◆TTAK君：T・TAKて歴史があるんだねえ。



★小野：そうでしょ（笑）第一回目の介護教室は、平成17年5月だったんだよ。「介護保険のあらましについて」だったね。大勢の方々が参加してもらえて、改めて介護保険について皆さんの関心が高いんだなあと思ったんだ。介護保険制度は平成12年から開始されたんだけど、まだまだどう利用していけばいいのか、わからないことも多い時期だったからねえ。

★小野：それとは別に、IHI 播磨病院を地域の医療機関から安心して利用してもらうために、病院スタッフの中からいろんな資格を持っているスタッフの紹介を、T・TAK 新聞として作成して地域の連携医療機関を中心に発行していったんだ。IHI 播磨病院の中でどんなスタッフが働いているのかわかってもらったほうが、中身がよくわかるんじゃないかと思ったのさ。

第1号からの特集は、ケアマネージャー資格を持っている看護師が、日々の通常業務の中でどんなふうにケアマネージャーの資格を活用しながら関わっているかをインタビュー方式で連載し始めたんだよ。

◆TTAK 君：先日の介護教室は感染管理認定看護師による、「手洗い」についてだったね。手洗いの大切さが伝わったように感じたよ。みんな熱心に聞いたみたいだよ。



★小野：そうだね。皆んな、風邪が流行ってるときに、「手洗い」が大切だっていうのは良く知っているよね。でも、風邪が流行っていないときでも「手洗い」って物凄く大事なんだ。お家の中でこまめに正しいやり方で「手洗い」をして日々暮らしてほしいもんね。



◆TTAK 君：今後、T・TAK はどうなっていくの？

★小野：介護教室については、介護予防の視点から生活の身近にある問題を取り上げていきたいなと考えているんだよ。お家の中で気をつけることがわかると便利だろ？

それと昨年1月から訪問看護ステーション「プラム」が開設されたんだよ。知ってたかな？皆んなまだまだ訪問看護って何を頼めるのか？とか分からないことも多いと思うんだ。介護保険のときの最初のころと同じようなことなんだと感じたんだ。だからそんなときにはT・TAK が活動して行って皆んなに良く理解してもらおうと考えているんだ。

TTAK 新聞は、病院の情報や地域医療情報も織り交ぜて、より地域の皆さんのコミュニティ的な役割が果たせたらと思っていてね。TTAK 君これから忙しくなるよ。いっしょに頑張っていこうね！

お忙しいところお話いただき、本当にありがとうございました。

今後も、IHI 播磨病院の各部門・先生・スタッフの紹介をします。

本年度もスタッフ一同頑張って参ります！（TTAK君も頑張ります。）

暖かいお心で、ご愛顧のほどよろしく願いいたします。

バックナンバーは 病院ホームページ <http://www.harima-hp.jp> からご覧いただけます。

by : T. O & C. T